

# ふえーぬ風

発行 〒901-1115  
 沖縄県南部農業改良普及センター  
 南風原町字山川517  
 TEL:(098)-889-3515  
 FAX:(098)-835-6010



## 南部地区の農業振興を目指して

沖縄県では、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」、「沖縄21世紀農林水産業振興計画」等に基づき、おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化、担い手の育成・確保及び経営安定対策の強化などの各種施策を選択的かつ集中的に実施してきたところです。

南部農業改良普及センター管内では、各種農業施策の推進と普及事業の積極的な取り組みにより、地下ダムの整備をはじめ農地及び施設等の整備、農業機械の導入など生産基盤は充実しつつあり、野菜、熱帯果樹、さとうきび、養豚、鶏、乳用牛、肉用牛、花き、かんしょ等の生産振興が図られ、これら農畜産物を柱に拠点産地の形成やブランド化など、地域特性を活かした多様な農業生産が行われ、地域経済・社会に大きく貢献しているところです。

さらなる農業の振興・発展を図るためには、新規就農者等担い手の育成・確保、産地力の強化、農家所得の向上に向けた取り組みが重要となっております。

このため、令和4年度は、下記の4つの活動方針を柱に、直接農業者に接して、技術・経営支援などを行う「農業改良普及事業」を重点的に展開してまいります。



### 1. 安定的な農業の担い手育成

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、就農女性の経営参画促進などの取り組みを支援します。

### 2. おきなわブランドの確立に向けた産地育成

野菜、花き、果樹、甘しょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの単収向上、畜産の生産供給体制の強化などの取り組みを支援します。

### 3. 環境と調和した農業生産活動

エコファーマーの育成、施肥の適正化、農薬の適正使用、食の安全・安心の確保などの取り組みを支援します。

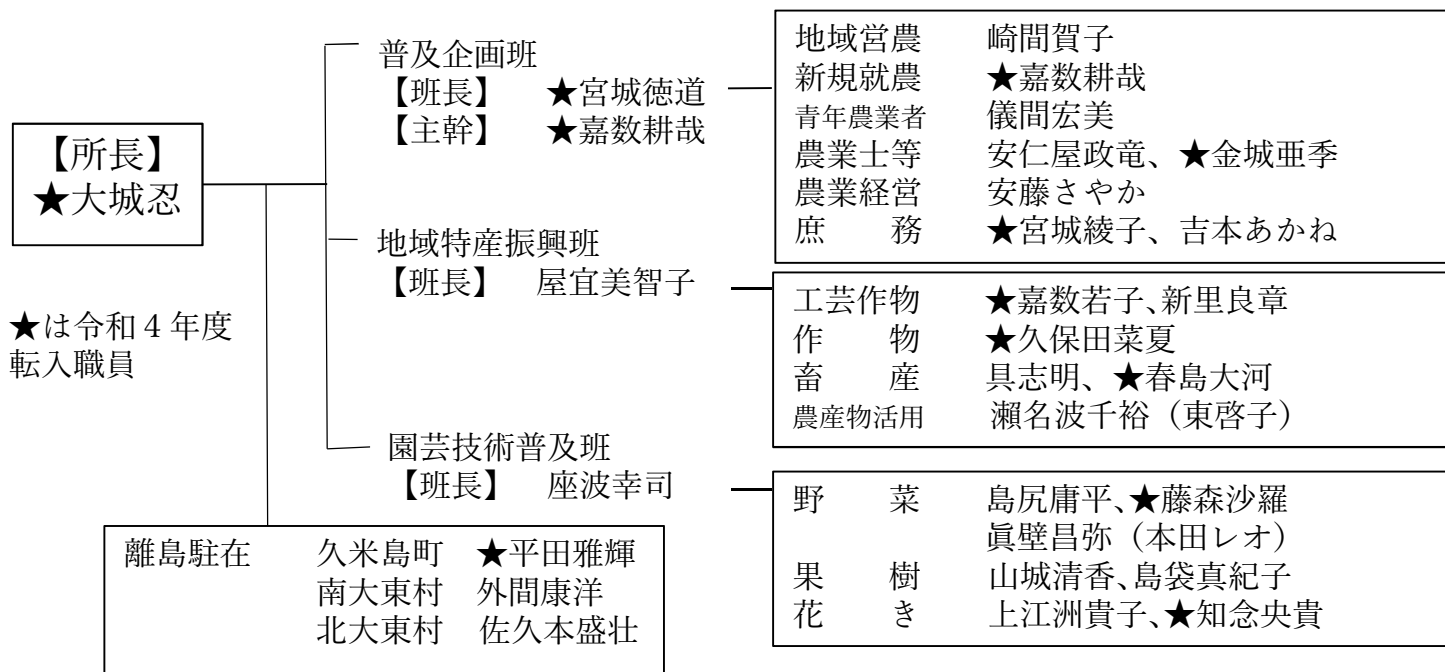
### 4. 地域資源活用による農村振興

地産地消の推進、女性起業者等の支援、地域特産物の活用、島ヤサイの産地育成、地域農業の活性化などの取り組みを支援します。

これら方針の推進にあたっては、生産農家をはじめ、市町村、JAなどの関係機関・団体と密接に連携し取り組む所存でありますので、関係者の皆様には今後とも普及事業へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

(南部農業改良普及センター所長 大城忍)

## 令和4年度 南部農業改良普及センター組織体制



★は令和4年度  
転入職員

# 果樹の夏場の管理（暑さ・日焼け対策、台風対策）

## 暑くなったら・・・の対策では遅いです！

これから夏に向かって気温が高くなり、特に梅雨時期の晴れ間や梅雨明け後はハウス内の温度が急上昇します。

換気が悪い等のハウスでは、4月でもマンゴー果実の日焼け果が発生しています。また、遮光率の悪いビニールや防風ネット等を長期に張った場合、遮光を除去し急激な温度上昇で日焼けが発生した事例もあります。

事前の暑さ対策をしっかりと行い、大切に育ててきた果実を守りましょう。



マンゴー葉の日焼け



暑さ・水分不足により果頂部が肥大不足



遮光率の高いビニールを、暑い日に急にあげて袋内の果実が日焼けした事例



パッションフルーツ 高温による青落ち

## 暑さ・日焼け対策

### 1. ハウスの換気をよくしましょう！

- ・ハウス天面ビニールを巻き上げましょう。また、天面が開けられない場合は、妻面のビニールを解放し熱気を逃しましょう。
- ・台風対策等の防風ネットは棚面にかけて続けず、台風等が通過したらすぐに開けて換気を良くしましょう。

### 2. 袋がけや遮光ネットをしましょう！

- ・日焼け防止のために袋がけをしましょう。ハウス内で高温になりやすい場所やハウス面積が大きい場合は、計画的に早期袋がけをしましょう。
- ・袋がけが間に合わない場合などは、緊急的に遮光ネットを被覆することで日焼け果対策になります。



妻面ビニールは空けられるように工夫され、前方のネットを目合いの大きいものに変更し、風通しをよくしている事例

## 台風前後の対策

### 台風襲来時は事前の準備だけでなく、台風通過後も適切な管理をしましょう！



マンゴー台風対策事例



スターフルーツの塩害による葉焼け



- ・施設本体や被覆資材を事前に確認し、必要に応じて修繕しましょう。
- ・ハウス倒壊の危険が少ない範囲で、防風ネット等の2重被覆により暴風対策をしましょう。
- ・台風通過後は、塩害を防ぐために速やかに水で塩分を洗い流しましょう。
- ・防風ネットは張りっぱなしにせず、速やかに換気を行いましょう。

# 野菜の台風対策

## オクラ



・草丈を30cm程度に切り戻す。切り戻し前に追肥し、側枝発生を促す。



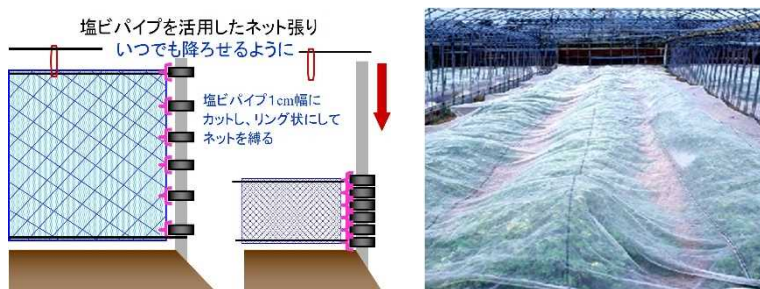
・草丈が小さい場合は、ハウスバンドで畦全体を固定するか防風ネットで被覆する。

ハウスバンド拡大図

## 果菜類



アーチパイプを利用した対策



つる下ろしの工夫とべたがけによる対策

※台風通過後すぐに、病害予防の殺菌剤散布と樹勢維持の葉面散布をしましょう。

(園芸技術普及班：島尻)

# 糸満市 きゅうりの拠点産地に認定！



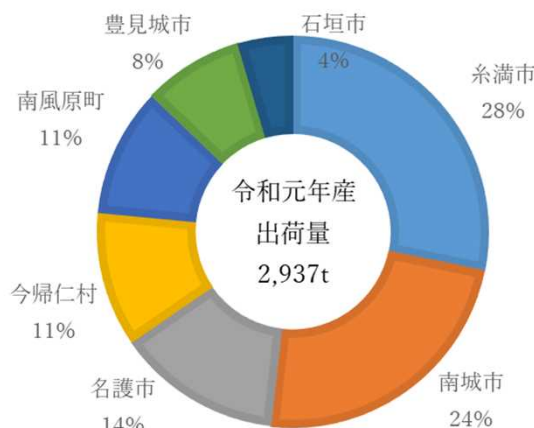
糸満市 きゅうり拠点産地認定式

### 【糸満市のきゅうりの概況について】

糸満市のきゅうりは、土地基盤整備や施設整備等が進んだことで、平成27年の面積7.5ha、生産量374tから令和元年には面積15ha、生産量726tに増加し、県内1位の産地となっています。また、近年は新規就農者の増加や、個々の栽培面積拡大、品目転換等により、今後も生産量の増加が見込まれます。

令和4年3月28日に県内初となるきゅうりの拠点産地に糸満市が認定されました。糸満市は作付面積15ha、生産量726tと、県内きゅうりの約25%を占める大きな産地です。今回は生産者や関係機関との長年の努力が実を結び、令和初の認定に至りました。

きゅうり専門委員会の久保田委員長からは「県外に売り込むためにも、市場が求めている定時・定量・定品質に向けて産地全体で頑張っていきたい」と抱負を述べられました。



県内産地におけるきゅうりの出荷割合(令和元年産)

(園芸技術普及班：座波)

## キクの台風対策（親株管理は栽培の極意！）

キク栽培において『苗半作』（＝苗生産が栽培の半分を占める）と言われるほど、苗生産は重要です。しっかり防風・塩害・冠水対策をしましょう！

### 事前対策 【台風接近時の対策】

- ① 降雨量の多い台風では冠水被害が大きくなるため、ほ場内・周辺の排水路を点検する。
- ② 台風の接近前に親株から採穂して、苗は冷蔵庫に保管する。
- ③ ネットをキクの先端が触れない高さで浮き張りする。
- ④ 露地・施設内の電照施設の電球をはずし、室内で保管する。
- ⑤ 平張施設等においては、ネットや接合部分等の破損部を確認し、修復または補強を行う。
- ⑥ 台風通過後に散布予定の殺菌剤などを準備しておく。
- ⑦ 停電時でも台風後直ちに散水が出来るよう、ガソリンエンジン動力噴霧器を備えておく。

冬期



季節風対策の防風ネットとして利用する

防風ネットを用いた  
簡易防風対策



台風接近時



畦ごとに防風ネットで植物体全体を覆うネット上部は植物体頂点に触れないよう、はりをもたせて展張する。

### 事後対策 【台風通過後の対策】

- ① 日が照る前に散水し、葉や茎に付着している塩分を洗い流す。
- ② 株に泥が付着したままだと生育が衰えるので、水で洗い流す。
- ③ 倒伏している株は早めに元に戻し、土寄せする。
- ④ 天候の回復を待って、殺菌剤を散布する。
- ⑤ 肥料の流亡や草勢の低下が考えられる場合葉面散布を行うが、速効性肥料による追肥は台風直後は控え、草勢を見ながら行う。
- ⑥ 電線・電球・タイマーなどの電照設備の点検と故障箇所の修理を行う。
- ⑦ 平張施設のネットに付着した塩分は早めに洗い流す。

## 令和4年度 土壌分析週間（6月）

土づくり推進活動の一環として、土壌分析を計画していますが、令和3年度と同様、新型コロナウイルス感染防止対策として、受付件数を1人1件のみに限定しての実施予定です。

- ・土壌サンプル受付〆切：令和4年6月10日(金)
- ・土壌分析週間：令和4年6月13日(月)～6月24日(金)

# クラブ会員募集中！ 新規就農の皆さん一緒に活動しませんか？ 南部地区農業青年クラブ連絡協議会

南部地区農業青年クラブ連絡協議会は、南部管内6市町村（糸満市・南城市・八重瀬町・南風原町・久米島町・南大東村）の市町村農業青年組織からなる会員59名(内女性7名)の地区組織です。新規就農した青年農業者が抱える問題を同世代の先輩農業者と交流しながら解決し、生産体制を整え、地域農業の発展に寄与する事を目的に活動しています。コロナ禍の困難な時だからこそ、クラブ員同士が抱えている問題を解決する場として行きたいと考えています。

今年の定期総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止策のため人数制限をかけて、5月17日に開催予定です。新地区役員予定者は以下の通り。

情報共有しあい、少しでも成長していけたらと思います。宜しくお願いします。

役員3年目。今年こそコロナが落ち着く事を願い、青年クラブを盛り上げていきたいです。

クラブ活動を通していろんな方々と交流を深めていきたいです。宜しくお願いします！

協力し合い成長し合って行きましょう！1年間よろしくお祈いします！



おおしろ つばさ  
大城 翼

品目：インゲン・オクラ  
南城市農業青年クラブ



またよし けんた  
又吉 賢太

品目：オクラ・サインゲン  
八重瀬町ファーマーズクラブ



きんじょう ゆうか  
金城 友佳

品目：ピーマン・ゴーヤー他  
糸満市農業青年クラブ



こじま たくや  
兒島 拓哉

品目：ピーマン  
南風原町農業青年クラブ

## 活動スローガン



～遊びながら  
学びながら  
一歩ずつ前進する～

※「ゆがふ」とは、沖縄の古い言葉で「世界報」と書き「世界の幸せや素晴らしい」という意味で、「豊年や五穀豊穰の願い」が込められた言葉。その言葉に左記の意味を加え活動しています！

## 当組織の特徴（おススメポイント）

- ① 栽培品目、販売先、既存所属に捕らわれず、情報交換や交流ができる（研修生もトライアル参加可）
- ② 市町村、地区、県、九州、全国の研修・交流会・イベントに参加できるチャンスがある
- ③ 組織力を活用して、個人では難しい自分の希望する視察や勉強会、プロジェクト活動等を企画することができる。（市町村役員や担当職員を通じてご提案下さい）

## 令和3年度活動状況



♪クラブ会員募集中 興味のある方、お気軽にお問い合わせください♪

# さとうきび栽培管理について 害虫防除とチューブ灌水

## さとうきび害虫の種類と防除対策について

5～6月の梅雨時期は、新植春植や株出ほ場での管理作業が進める時期です。同時に、さとうきび害虫の発生が増える時期でもあります。害虫の被害は減収につながりますので、早期防除に努めましょう。

○南部地区で発生が見られる主なさとうきび害虫

メイチュウ類

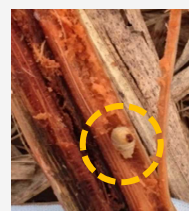


イネヨトウ

カンシャシクイハマキ



カンシャコバネナガカメムシ (ガイダー)



シロスジオサゾウムシ (左：幼虫(点線内) 右：被害茎)



被害：メイチュウ類による芯枯れ  
対策：薬剤処理(粒剤、液剤)  
イネ科雑草の除去  
※薬剤の処理と、発生源の雑草除去が有効です。



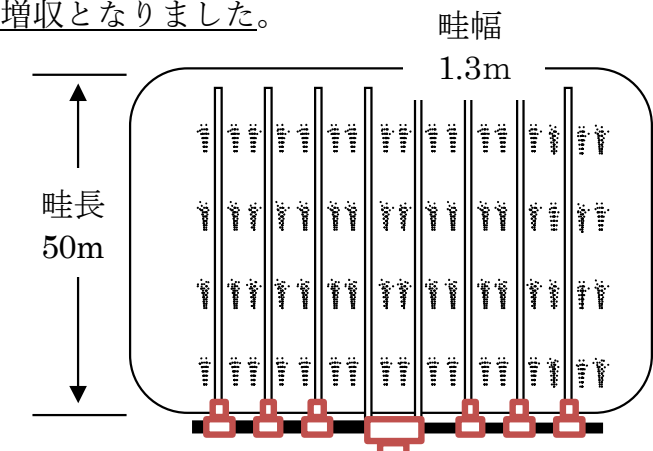
被害：ガイダーの吸汁による生育阻害  
対策：薬剤処理(粒剤、液剤)  
※散布剤は葉鞘にもかかるように処理しましょう。



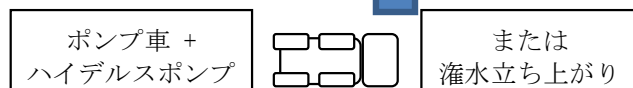
被害：シロスジオサゾウムシによる食害  
対策：薬剤処理(粒剤)  
※培土時に土壌混和処理しましょう。

## チューブ灌水

さとうきび作でかん水の利用率が低い要因として、点滴かんがいやスプリンクラでは設置費用や維持費が高いことが上げられます。そこで、安価な穴あきチューブ(主にハウスなどで使われる商品名：セーフティ)を用いる方法で展示ほを設置しました。年間費用7千円で設置できて、40%の増収となりました。



バルブを左右4本ずつ散布できるように2個設置



10a当たり  
・50mチューブ8本  
・塩ビ管とホースバンドで設置できる  
・ダクトホース25m  
・ホースニップル



畝端にダクトホースを設置



畝間に灌水チューブ(セーフティ)

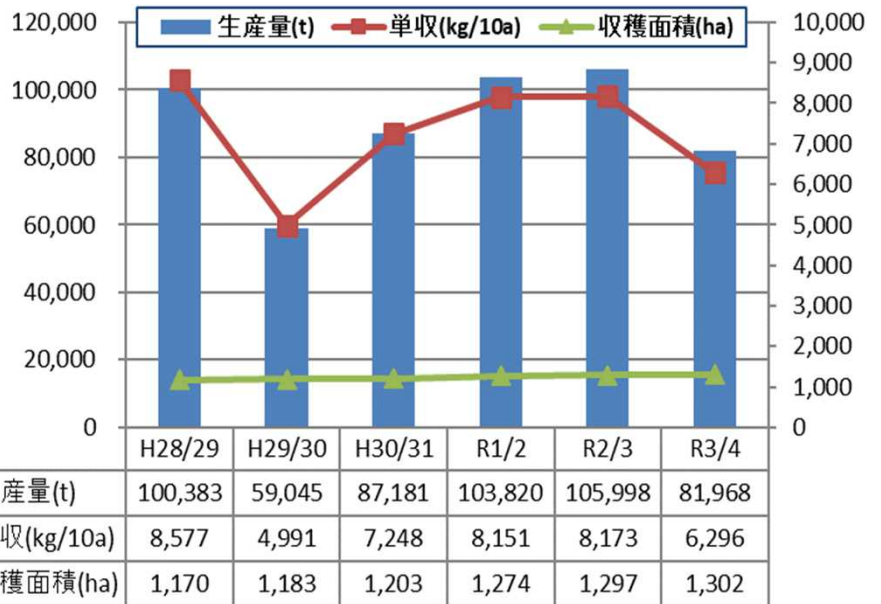
10a当たり費用  
初年度費用は22千円であるが、ホースの耐用年数等考慮すると、1年当たり7千円/10a

(地域特産振興班 新里、嘉数)

# 離島情報 (南大東村)

## ～さとうきびの生産状況～

南大東村のR3/4年期的さとうきび生産量は81,968トン（速報値）でした。前年の製糖期が5月までなかった影響で株出しのスタートが遅くなったことと、生育旺盛期の8月から9月にかけて極端に降水量が少なかったことから前期よりも生産量が少なくなっていますが、過去10年間の平均（73,457トン）を上回ることができました。また平均甘蔗糖度は15.4で、品質取引が開始（H6/7年期的）されてから最も高い糖度となりました。南大東村では少ない水資源を有効に利用してさとうきび栽培を行っています。



圃場の水源整備率、畑地かんがい整備率ともに県平均値を大きく下回っていますが、溜め池や自然池の水も含めた貴重な水資源を有効に活用するため、島内の圃場には設置型農業用タンク（養殖用マリンタンク70トンを利用）を整備し、池の水をくみ上げて点滴灌水に使用しています（写真1）。このような対策を行うことで、干ばつの被害を最小限に抑えることが可能となっています。



写真1. 設置型農業用タンク及びかん水チューブ設置状況

（南大東村駐在：外間 康洋）

# 金城彰氏 令和3年度農事功労表彰（緑白授有効章）受賞

令和3年度農事功績者表彰における緑白授有効章を受賞した金城彰・ヒロ子夫妻が八重瀬町長を表敬訪問し、受賞報告を行った。

金城彰氏は、サトウキビの大規模経営やサヤインゲン・オクラの栽培と安定した経営が評価された。また、沖縄県農業機械士協議会の会長として、農業の機械化・作業受委託の先導や、家族協定を締結し男女共同参画の地域の模範となり、農業委員・町議会議員として、地域農業の発展に貢献するなど、数々の功績が評価されている。



金城彰氏は「受賞が決定した時はとても嬉しかった。指導農業士や県機械士会長など、様々な活動で外出することも多かったが、その間妻が畑作業を行って支えてくれたおかげであり、2人3脚でやってきたから受賞できたと思う。農業は、頑張れば頑張るほど収入が得られることも、農業を行う励みとなっていた。今後も邁進していきたい。」と、受賞の喜びを語った。新垣町長からは、「地域貢献、後輩等への指導だけでなく、自らも実践されてきたことが高く評価されている。」とお祝いの言葉がのべられた。  
(地域特産振興班 屋宜)

## 転入職員紹介



宮城徳道



嘉数耕哉



宮城綾子



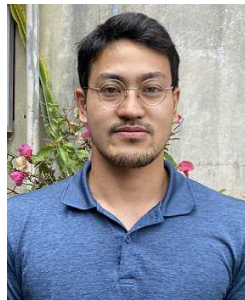
平田雅輝



嘉数若子



藤森沙羅



春島大河



知念央貴



金城亜季



久保田菜夏

### ～お世話になりました～ 定期人事異動

( ) は転出先  
長元司（北部農林水産振興センター）、下城崇生（中部農業改良普及センター）、神山桂子（北部農林水産振興センター）、今井和美（物品管理課）、長山麻江（公益財団法人沖縄県農業振興公社）、前田藍（八重山農林水産振興センター）、粟國佳史（中央卸売市場）、佐藤恒啓（農業研究センター）、普天間斎（農地農村整備課）、金城幸作（八重山農林水産振興センター）